

☆はじめに☆

新緑の美しい爽やかな季節になりました。入園してきた新しい子どもたちも園生活にも慣れ、かわいい笑顔を見せてくれています。待ちに待ったゴールデンウィークも後半になりますが、連休明けは大人も子どももつかれが出やすくなります。どうぞ無理のない計画で、いっぱい楽しんで、連休明けにはみんないっぱいの笑顔で登園して来てください。そして先生たちに、たくさんのお話を聞かせてください。年度変わりの時期を終えてひと段落するこの時期は、気の緩み等から事故や体調不良を起こしたりしがちです。園でも引き続き「子どもの命を預かっている」ことを常に念頭に置き、再確認して保育を実施してまいります。保護者の皆さまもどうぞ体調管理に十分お気をつけ下さい。さて、平成28年4月1日に開所した心花保育園ですが、やっと1歳の誕生日を迎えることができました。これもひとえに皆さま方の温かいご理解とご協力があったからこそと、園長以下職員一同心より感謝申し上げます。しかし、まだよちよち歩きの段階です。皆さまの力をお借りして一人前になり、5年、10年、20年と歴史を積み重ねて、地域になくてはならない保育園としてやっていけるよう、保育の道をまい進する所存です。どうぞ引き続きよろしくお願いいたします。今いる園児たちが大人になり、自分の子どもがこの保育園に預けるようになった、みたいな素敵な出来事をたくさん見届けるまで園長としても頑張っ

☆お礼☆

先日の親子遠足にはたくさんの皆さまに参加いただき、ありがとうございました。子どもたちもとても喜んでおり、「楽しかった。」「お弁当おいしかった。」と、たくさんのお話を聞かせてくれました。これをきっかけとした保護者の皆さま間のコミュニケーションが広がってくれば言うことはありません。子どもたち、保護者の皆さまにとって心地よい保育園生活となるよう今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

Kohana Letter 5 May

☆子どものために出来ること☆

私たちが子育てする上で子どもと向き合う時、子どものためにまず何をすべきでしょう。私たちはまず、子ども自身の自己評価をいかに高めてあげられるかが大切だと考えます。その為には何をすればいいのでしょうか。まず、赤ちゃんならばスキンシップ。目を合わせて、笑顔で、色々と話しかけてあげることが大切です。これだけで赤ちゃんには自分の存在をまわりのみんなが喜んでくれていると感じます。いわゆる「サイレント・ベビー」と呼ばれる無表情な子も、このような関わりによって表情を取り戻す場合も多々あるようです。次にある程度話せるようになった子どもには、繰り返し、繰り返し話を聞いてあげることがとても大切になってきます。ケースによりますが決してお子さん以上に喋り過ぎない、あくまで話を聞いてあげることが前提にする事が大切です。まずは「そうなの、そうか」と話を聞いてあげて、子どもの存在感に対する安心を育てあげましょう**（相手の話を真剣に聞いてあげることだけで、あなたは大切な存在だよと伝えることが出来ます）**。そして「そうなの、頑張ったね、えらかったね。」と相手の気持ちを受け止める。それだけで子どもたちはすごく自分が大切にしてもらえたという気持ちになることが出来ます。

行事予定

- 10 (水) 身体計測 (0・1歳)
- 11 (木) 身体計測 (2~5歳)
歯科健診 (全)
- 15 (月) クッキング (サンドウィッチ)
- 16 (火) 園外保育 (4月遠足延期分)
※お弁当不要です。
- 17 (水) 健康診断 (全)
- 24 (水) 誕生会・お楽しみ会
- 29 (月) ~6/3 (土) 個人面談

☆職員研修☆

- 8 (月) 人間関係構築 (原口・砂川)
- 11 (木) インクルーシブ研究部会 (原口)
- 15 (月) 障がい児対応 (宮原)

☆言葉への理解☆

お子さんのほんの少しの成長って見逃しがちですよね。「そういえば、これいつから出来るようになった?」と思うことはありませんか? 毎日の積み重ねなので急に出来るわけではないのですが、小さい体で見たり聞いたり感じたりしながら様々なことを身につけていることをよく感じます。「おむつ変えようか」と声をかけながら進めると自ら腰を浮かせたり、着替えの時「手を入れるよ」と言うと片手ずつ袖を通してくれたり、その時に手におもちゃを持っていたら通す手と反対に持ち変えたり・・・成長につれて言葉をきちんと理解した上での行動なのだろうと思うことが多くなってきます。小さな変化ですが出来るだけその1つひとつに気付いてあげたいと思っています。